

## 指定管理者からの令和5年度事業報告概要

施設名	岡山県総合グラウンド（岡山武道館を除く。）
施設所在地	岡山市北区いずみ町2-1

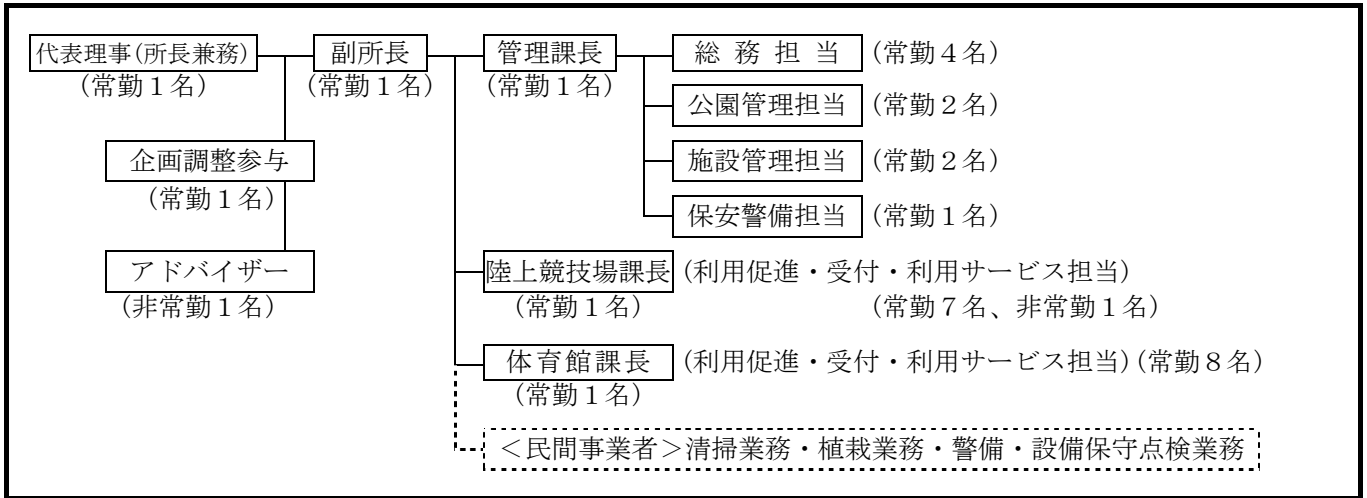
### 【指定管理者の概要】

名称	岡山県総合グラウンドコンソーシアム・チーム岡山	代表者	代表団体（一社）岡山県総合協力事業団 代表理事 房野文彦
所在地	岡山市北区いずみ町2番1-11号		

### 【指定管理の概要】

指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合グラウンドの施設の利用等の許可に関すること。</li> <li>・総合グラウンドの施設及び設備の維持管理に関すること。</li> <li>・総合グラウンドの運営に関すること。</li> </ul>		

### 【管理体制の状況】



### 【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		陸上競技場(補助含)	庭球場	その他	合計
許可件数	5年度	97,088	17,207	32,493	146,788
	4年度	63,543	18,866	27,771	110,180
	増減	33,545	△1,659	4,722	36,608

### 【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	・建物、設備保守管理 ・施設清掃業務 ・警備業務 ・植栽管理業務等
公園使用許可業務	許可件数 146,788件 [内訳] 個人：144,380件 専用：2,408件
自主企画事業	体験教室等の開催、トレーニング器具・球技用簡易用具の貸出等

### 【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、人)

	陸上競技場(補助含)	体育館	その他	合計
収入額	39,050,523	58,659,520	54,077,765	151,787,808
利用者数	164,634	218,137	135,555	518,326
減免額	164,878,035	27,876,480	502,070	193,256,585
減免理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、トライフープ岡山等の支援のため。</li> <li>・身体障害者、高等学校以下の学校が組織する団体が主催し、スポーツ振興のために使用する場合など。</li> </ul>			

# 指定管理者からの令和5年度事業報告概要

## 【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		5年度	対前年度増減額	4年度	備考
<b>収入額 A</b>		579,308,897	△16,660,569	595,969,466	5年度収入額 その他の主なもの ・ 県委託修繕費 59,144,000円 ・ エネルギー価格等 の高騰に伴う支援 交付金 6,846,000円
内 訳	指定管理料	272,614,000	△37,437,580	310,051,580	
	利用料金収入	225,942,338	13,279,875	212,662,463	
	事業収入	14,703,828	4,553,405	10,150,423	
	その他	66,048,731	2,943,731	63,105,000	
<b>支出額 B</b>		542,405,695	△18,978,816	561,384,511	5年度支出額 その他の主なもの ・ 1号発電機始動用 直流電源盤整備工 事 4,180,000円 ・ 高圧引込ケーブル 取替工事(常用側) 3,080,000円
内 訳	人件費	144,986,851	2,650,940	142,335,911	
	管理運営費	323,153,719	△24,113,386	347,267,105	
	事業費	15,121,125	5,444,660	9,676,465	
	その他	59,144,000	△2,961,000	62,105,000	
<b>収支額 A-B</b>		36,903,202	2,318,247	34,584,955	県への納入金内訳 〈駐車場〉43,159,430円 〈修繕費〉 0円 〈駐車場・修繕費以外〉 164,670円 計 43,324,100円
県への納入金		43,324,100	10,313,747	33,010,353	
<b>実質的な県負担額</b>		259,791,431	△20,495,596	280,287,027	

## 【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目	区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B 事業計画、業務仕様書に沿った適切な管理が履行されていた。また、専門研修や各種セミナーへの参加による職員の資質向上にも努めていた。
	②法令等の遵守 状況	B 関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B 「園内巡視マニュアル」の整備やスポーツ施設管理士等有資格者の配置等により園内の利用秩序の維持と安全確保に努めるほか、新型コロナウイルス等の感染症の対応のため、「感染症防止マニュアル」に沿って、適切な感染防止対策を実施していた。
	④財産の適切な 管理	B 施設・設備の破損、備品の紛失はなく、修繕も適時的確に実施されており、適切な管理が履行されていた。
導入 効果	①利用状況	B コロナ禍で落ち込んでいた利用者数、観客者数ともに令和元年度比9割程度まで回復し、前年度比ではいずれも1割以上増加した。 【利用者数】 R5:518,326人 ← R4:461,009人（参考 R1:554,486人） 【観客者数】 R5:309,605人 ← R4:266,930人（参考 R1:352,064人）
	②収支状況	C オープンカウンターによる物品購入のほか、施設内水洗トイレに雑用水を利用するなど経費節減に努めているものの、電気料金やガス料金の高騰の影響を受け、厳しい状況である。
	③サービス向上	B まちのにぎわいづくり、魅力づくりに貢献するためのイベントや体験教室等を実施するなどサービス向上に努めていた。
<b>管理運営業務全般</b>	B	利用者数の回復が見られる一方で、電気料金、ガス料金の高騰により厳しい状況が続いているが、経費削減等に取り組み、感染症対策を含め、管理運営において適切な対応を行っていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。